

特定非営利活動法人 防災千葉

千葉市中央区本町 1-6-24 (渡辺コーポ 102 号)

E-mail [bosai@bosai-tiba.jp](mailto:bosai@bosai-tiba.jp)

Homepage <http://www.bosai-tiba.jp>

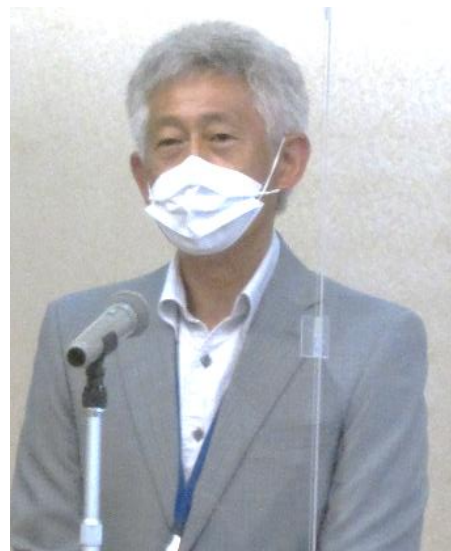
Fax 043-301-3820

### ■ 令和3年度通常総会を開催

特定非営利活動法人防災千葉は、令和3年7月15日プラザ菜の花において、令和3年度通常総会を開催しました。

今年度の総会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、可能な限り書面による表決をお願いするなどして少人数での開催といたしました。

このような中、総会には県土整備部、土木事務所所長会など関連する県の組織を代表して、県土整備部災害・建設業担当部長の渡邊浩太郎様、千葉土木事務所長の相澤忠利様、県建設技術センター理事長の北岡聡様に来賓として御出席いただきました。



渡邊災害・建設業担当部長

開催にあたり、まず増岡理事長から挨拶がありました。

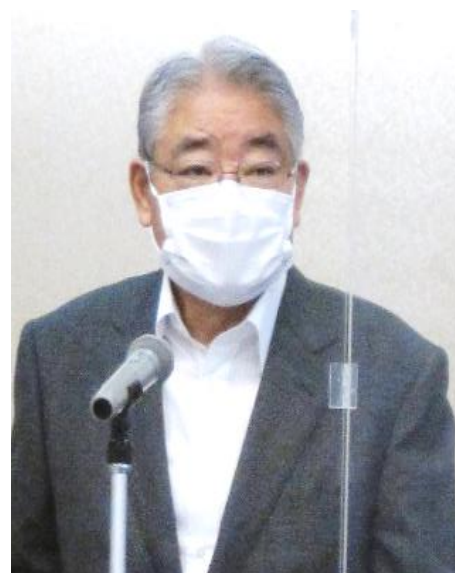
その中で、「令和2年度の当NPOの活動は、コロナ禍の中、中止を余儀なくされた事業もありますが、土砂災害危険箇所の点検、歩くパトロール、震災訓練、出前授業、急傾斜地崩壊危険区域の施設点検など、予定された事業は、ほぼ遂行出来たと考えております。会員の皆様方には、改めてご努力に対し感謝申し上げます。

今年の梅雨入りは平年より3週間早い地方がありましたが、千葉県においても7月3日に梅雨前線の影響によりレベル4相当の土砂災害警戒情報が発令され、県内の36自治体が避難指示を含む警戒情報を出しました。また、同日の豪雨により、熱海市では大規模な土砂災害が発生し、今現在も行方不明者の捜索活動が行われている状況であり、昨年同時期に多くの犠牲者を出した球磨川の災害に続き、大変胸の痛む思いです。

今年は土砂災害防止法が施行されて20年目に当たりますが、本県においても当初見込んでいた約11,000箇所の危険箇所全てにおいて、今年の5月末までに県当局および関係市町の皆様のご努力により、土砂法による警戒区域等の指定手続きが完了しました。行政の知らせる努力と住民の知る努力が相乗的に働くことにより、地域全体の防災力が向上するものと確信しております。

当NPOは、今年7名の新規会員が入会し、総勢234名の会員数となっております。年齢構成に幅がありますが、年齢の壁を乗り越えて、会員一同で千葉県の災害に強い地域づくりに寄与できるよう、息の長い活動を続けていきたいと思っておりますので、引き続きNPO防災千葉の活動にご支援ご協力をお願いします。」との話がありました。

来賓を代表し災害・建設業担当部長の渡邊浩太郎様からは、「NPO防災千葉の皆様には、毎年、土砂災害危険箇所の点検、歩くパトロール、災害復旧事業の支援などにご協力いただき、大変お世話になっております。特に最近は災害が頻発・



増岡理事長



新型コロナウイルス対策でソーシャルディスタンスを取りながら開催した令和3年度総会

激甚化していく中で、県と連携・協力しながら県民の安全を守っていく大変重要な使命を持って活動されていることに改めて感謝申し上げます。

県政では今年には大きな変化がありました。一つは、12年続いた森田県政から、熊谷知事に代わりました。また、県土整備部では3年間、我々を指導・牽引していただいた河南部長が国交省へ戻られ、後任には、近畿地整の企画部長から池口様が本日付で着任されました。

災害関係では、一昨年の台風被害により県の体制の見直すべきところが沢山見えてきたため体制を強化しました。これまでは、降雨等の状況を見て水防体制を執り水害に対しての対応が中心でしたが、県土整備部で行う本来の防災活動はもっと幅広く広範にあるということで、本部事務局を設け、部全体として様々な災害に対応する体制としました。空振りはあるかもしれないということでも体制を強化し対応しております。

働き方改革については、テレワーク、オンラインでの会議など色々なことで業務を効率化させ、組織全体で県民の安全を守っていく体制を構築していきたいと思っております。今後も皆様方と連携・協力しながらやっていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。」とのお話がありました。

議事は令和2年度の事業報告、収支決算及び令和3年度の事業計画(案)、予算(案)、役員の選任(案)の5議案がすべて承認されました。

## ■ 令和2年度事業報告 (R2.7.1～R3.6.30)

令和3年度通常総会で承認された令和2年度の「事業報告」は下記の通りです。

(令和3年度の「事業予定」は4ページに記載しています。)

通常総会	令和2年7月17日 プラザ菜の花にて開催。 出席者223名(内訳本人出席35名、表決委任188名)。 令和元年度事業報告及び収支決算報告、令和2年度事業計画(案)、 収支予算(案)及び役員の選任(案)が承認された。
役員会・理事会・事務局会議	役員会の開催は無し、理事会2回、事務局会議を6回開催した。
あるくパトロール	令和2年8月4日～9月10日 県管理の道路を対象に県職員と協働で歩くパトロールを実施した。14土木事務所で実施され、当NPOから延べ40名が参加した。
会報の発行	会報(36～37号)を会員および県の関係機関、外郭団体等に配布した。 36号(令和2年9月1日発行)700部、37号(令和3年2月10日発行)700部。
防災訓練	令和2年9月1日 県土整備部震災訓練に参加。(15土木事務所管内) 県と締結している「災害時における業務協力に関する協定」に基づき、県管理施設に係る情報伝達訓練等に当NPOから延べ60名が参加した。
出前事業	「語り継ぐ災害 地震津波災害」を旭市および匝瑳市の4校で計画したが、旭市の3校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期し、匝瑳市の1校で実施した。 (実施年月日・場所・対象学年・参加生徒数は下記の通り)。 ・令和2年10月8日 匝瑳市立八日市場第一中学校 1年生 91名
防災関係建設技術研修会	令和3年1月「プラザ菜の花」にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染状況に鑑み中止した。
令和3年度砂防ボランティア 全国のつどい	令和3年6月に和歌山県田辺市において開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止された。
土砂災害危険箇所点検	令和2年8～11月に県、市町村の防災担当者等と協働して、全土木事務所管内で急傾斜地危険箇所871箇所の点検を実施した。(令和元年度延期分) 同様に令和3年6月に全土木事務所管内で点検を実施した。
急傾斜地崩壊危険区域・ 防止施設点検業務	令和2年11月～令和3年6月 業務を受託し、5土木事務所で実施した。(点検箇所76箇所)
「関東ふれあいの道」の パトロール	令和3年3月「九十九里の砂をふみしめて歩く道」(一宮町)のパトロールを予定したが、緊急事態宣言期間中であったことから中止した。



## ■事業紹介（出前授業：語り継ぐ災害「地震津波災害」）

九十九里外房地域は過去に大きな地震津波災害を受けてきた地域です。

そこでこれまでの地震津波災害、東日本大震災で津波にあわれた方の体験談、そして強い地震の揺れがあったらどのように対応するか、について子供たちにわかりやすく説明し伝えることにより防災対策への関心を育み手助けできるよう、主に小学校高学年生を対象に出前授業を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルスによる感染を予防する観点から、当初予定していた小学校での開催を中止する中、匝瑳市立八日市場第一中学校で感染防止対策に配慮しながら実施しました。

<平成25年度からの開催状況>

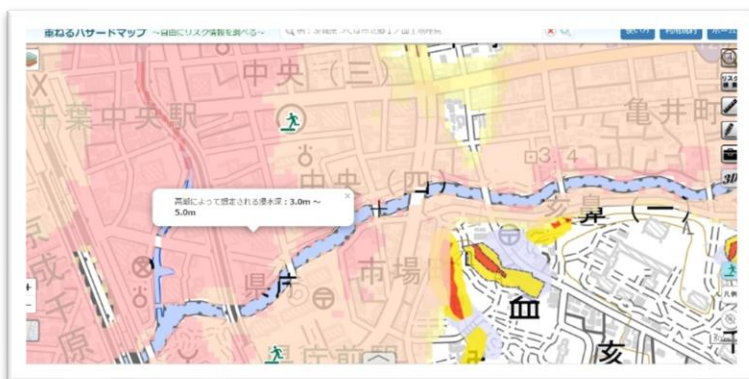
年度*	開催市町村及び対象	参加者数
平成25年度	南房総市（南小学校（4校合同）、健田小学校（5校合同））	274名
平成26年度	南房総市（三芳小学校（3校合同）、南三原小学校、三芳地区防災研修会） 館山市（船形小学校（2校合同）、北条小学校（3校合同）、館山小学校（5校合同）） 鴨川市（鴨川小学校）	959名
平成27年度	南房総市（三芳小学校）、鴨川市（小湊小学校）、勝浦市（勝浦小学校） 長南町（長南小学校）、旭市（旭市シニアカレッジ）	459名
平成28年度	御宿町（御宿小学校）、いすみ市（岬中学校）、一宮町（一宮小学校） 白子町（南白亀小学校）	865名
平成29年度	長生村（高根小学校、一松小学校）、白子町（関小学校、白潟小学校） 九十九里町（豊海小学校）、山武市（蓮沼小学校）	879名
平成30年度	九十九里町（九十九里小学校、片貝小学校）、横芝光町（白浜小学校） 匝瑳市（野栄中学校）	588名
令和元年度	横芝光町（上堺小学校）、山武市（縁海小学校、鳴浜小学校、大正寺） 旭市（飯岡小学校）	539名
令和2年度	匝瑳市（八日市場第一中学校）	109名

\*（NPO 防災千葉の事業年度は7月から翌年6月まで）

## ■防災、減災に役立つ情報（重ねるハザードマップ）

自然災害から身を守るためには、安全を確保する行動を適切かつ迅速に行うことが必要になります。そのためには自分の生活圏にある災害のリスクを日ごろから認識し、避難行動等の回避方法をあらかじめ学習して、いざという時に役立つように準備しておくことが重要です。様々なハザードマップが地元市町村をはじめ県や国で作成、公表されています。新聞折り込みなどで配布されているものもありますが長い間管理して活用し続けるには努力が必要でした。国土地理院の「ハザードマップポータルサイト」は全国のハザードマップを地図上で検索でき、それぞれの地域で情報を重ね合わせてみる事ができるサイトです。

表示例やアクセス方法を紹介しますので災害発生時の自分自身や家族、地域の人たちの減災に活用してください。



検索方法：「重ねるハザードマップ」で検索し、国土交通省のポータルサイトを選択します。

使用方法：表示されている全国地図を拡大して、見たい場所を表示し、災害種別を選択します。

表示例（左上）：県庁周辺で「高潮」、「土砂災害」を選択。着色箇所をクリックするとその地点の浸水深が表示される。  
表示例（右上）：外房地域で「津波」、「土砂災害」を選択。着色箇所をクリックすると津波による浸水深や急傾斜地の特別警戒区域などが表示される。

## ■ NPO防災千葉の組織（令和3年7月15日現在）

役員				相談役	
理 事 長	増岡 洋一	理 事	大野 二三男		小林 宗平 市川 慎一 佐藤 正芳
副理事長	鶴岡 春美 渡邊 芳敏		木邊 實 並木 博史		
		監 事	山村 繁喜 大湊 一文		
事務局員					
事務局長		土屋 謙	事務局次長		—
	総務部	企画部	事業部	広報部	会計
部長	平林 利夫	鯉渕 彰	露寄 茂	渡辺 幸男	小池 敏夫
部員	木邊 實	大野 二三男	田中 俊二	並木 博史	松田 善典
	御園生 孝	塩屋 龍一郎	前田 善信	小高 千弘	
	吉田 良治	宝地 兼次	秋葉 利信	石橋 喜久雄	
	畠山 正夫	高谷 幸雄	湯田 尚登	大野 敏夫	
	大塚 和裕	鈴木 邦秀	滝浪 善裕	水垣 浩	
	米良 信雄	柴田 利雄	村楯 紀雄		
		石井 光男	根本 嘉生		
	中橋 正				
地域幹事・副地域幹事					
地域名	地域幹事	副地域幹事	地域名	地域幹事	副地域幹事
千葉	松田 善典	田村 規道	海匝	大湊 一文	渡辺 幸男
葛南	柴田 利雄	滝浪 善裕	山武	勝股 稔	塩屋 龍一郎
東葛飾	山村 繁喜	石井 直樹	長生	秋葉 利信	山岸 浩一
柏	高橋 龍悦	伊藤 洋二	夷隅	中村 正美	鈴木 邦秀
印旛	穴戸 勝美	山野 勉	安房	平林 利夫	吉田 良治
成田	前田 善信	松木 久男	君津	鶴岡 正	村岡 春雄
香取	秋山 文男	木邊 實	市原	伊東 正晃	水垣 浩
銚子	實川 常博	木内 和男			

## ■ 令和3年度 事業計画

1. あるくパトロールの実施（8月～）（県管理の道路）
2. 会報の発行（第38号（8月）700部、39号（令和4年2月）700部）
3. 防災訓練 県土整備部震災対策訓練に参加し、情報伝達訓練等を実施予定。（令和3年9月1日）
4. 出前授業 「語り継ぐ災害 地震津波災害」  
旭市立三川小学校、矢指小学校、富浦小学校での開催を予定。
5. 「関東ふれあいの道」のパトロール（令和4年3月上旬）
6. 防災関係建設技術研修会の開催（令和4年1月頃 プラザ菜の花予定）
7. 砂防ボランティア全国のつどいへの参加（令和4年6月）
8. 土砂災害危険箇所点検（令和4年6月 全土木事務所）
9. 広報活動 当法人の目的である、自然災害防止および土木施設等の保全にかかわる活動の広報に努める。

### ■ 会員の動向

令和3年度入会者数  
7名

令和3年度会員数  
（7月1日現在）  
234名

賛助会員  
全国治水砂防協会  
千葉県支部